

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこうりゅうきょうかいかいほうだい ごう
高崎市国際交流協会会報第82号

2018.10

◆トピックス(2018年7月～2018年9月)

◆ジュニアインターナショナルクラブ ～チェコ大使館訪問～

7月26日、ジュニアインターナショナルクラブのメンバー17人は、チェコ大使館(東京)を訪問しました。文化担当官からチェコの話聞いた後、館内ツアーをし、東京にある唯一のチェコ菓子店Cukrのメドヴニークというケーキをいただきました。その後、東京国立博物館で日本や東洋諸国の貴重な文化財を鑑賞し、有意義な1日を過ごしました。(青少年育成部会)



◆Cool Takasaki発信事業～和菓子作り教室～



7月21日、市民活動センター・ソシアスで、外国人を対象にした和菓子作り教室が開催され、宮澤啓さん(多文化講師・微笑庵店主)が、12人の外国人に、3種類の和菓子の作り方を教えました。(事務局)

Cool Takasaki 発信事業は、クールな高崎の人、場所、イベントを紹介し、SNSで広めてもらう事業です

◆多文化サロン～フィリピン～

7月1日、労使会館で、多文化サロンが開催され、ゲストのマリグレスさんが、出身国フィリピンについて、食べ物、衣服、祭などの写真を見せながら紹介しました。フィリピンはスペインの植民地やアメリカの統治下だった時代などがあり、色々な国の影響を受けているのが特徴だと話しました。



(都市友好部会)

◆おしらせ(2018年10月～2018年12月)

◆Cool Takasaki発信事業～茶道体験～



●日時=11月11日(日曜日) 午後1時～2時30分 ●場所=高崎シティギャラリー(高松町) ●内容=合同茶会に参加して茶道の体験をする

●対象=外国人 ●費用=無料 ●定員=先着5人 ●申込=電話かE-mailで事務局へ

◆世界のスープと粉物



●日時=12月2日(日曜日)午前10時30分～午後2時 ●場所=市民活動センター・ソシアス(足門町) ●内容=世界5か国のスープとそれに合わせて食べる粉物を作る。調理後試食なし

●費用=会員500円、一般1000円 ●定員=先着30人 ●申込=11月13日(火曜日)午前10時から電話で事務局へ

◆青少年グローバル人材育成講演会

●日時=12月2日(日曜日)午前10時～12時 ●場所=市民活動センター・ソシアス(足門町) ●講師=中島慎一郎さん(読売新聞社新潟支局長、高崎市出身) ●内容=中南米支局長としてブラジルに滞在していた時の体験談や、ブラジルの人々の生活や文化について話す。今年ブラジル移民110周年にあたり、ブラジルと日本の関係にもふれる ●対象=小学4年生から中学生とその保護者 ●費用=無料 ●申込=11月29日(木曜日)までに電話で事務局へ



姉妹都市バトルクリーク市(アメリカ)との相互ホームステイ事業に参加した皆さんから感想を寄せていただきました。今年は7月22日から8月1日まで高崎市の学生をバトルクリーク市に派遣し、8月2日から8月12日まで高崎市でバトルクリーク市の学生を受け入れました。

たいけん 体験しないとわからないこと

たかまきこうぎょうこうこうねん いちかわ あゆみ
高崎工業高校2年 市川 歩実

私がアメリカ短期留学を志望したのは、姉の交換留学の影響を受けたからです。当時小学生だった私は簡単な英単語しか分からず、交換留学生と上手く会話をすることが出来ませんでした。また、中学1年の時、私は音楽の授業でアメリカのミュージカル映画を観て、さらに実用英会話が出来ようになりたいと思いました。事前に私はホームステイ先で使える英文や英単語を覚え最低限の英会話は出来るように準備して行きました。しかし、実際にホストファミリーに質問を試みたり、質問に対して答えても全く伝わらず、自分に苛立ちました。また、自分が当たり前だと思っていたことがアメリカでは普通ではなく、毎日アメリカでの「普通」を学ぶ日々でした。学校の英語の授業では文法や単語を覚え、社会の授業では他の国の文化を理解



し分かち合うことが大事だと習いました。しかし、それは分かっていたつもりだっただけで、実際に体験しなければわからないことが沢山あるのだと気付かされた20日間でした。

さいこう おもて 最高の思い出

きょうあいがくえんこうこうねん おのざと ゆう
共愛学園高校2年 小野里 優

早く会いたいね！と何ヶ月も前からお互い会える日を楽しみにし、長いフライトとバス移動を終えついにバトルクリーク市に着いたあの日、ペアのMaryが私にハグをしながら、やっと会えたね！楽しみにしてたよ！と言ってくれた事は、今でも鮮明に覚えています。その日から始まったアメリカでの生活、本当に楽しく一瞬に感じられるほど充実していました。彼女の家族と一緒にとても綺麗な噴水がある公園に行ったり、動物園、プール、大きなショッピングセンターに行ったりと沢山の事を経験しました。どれも日本とは少しずつ異なる点があり、見つける度に日本ではこうだよ！とペアのMaryや彼女の家族に伝えると、さらに詳しくアメリカの事を教えてもらえたりして、とても勉強になりました。私は英語を話す事が大好きなので、24時間ずっと英語を使って生活できたあの日々は、本当に幸せで、私の今回の目標の1つでもあった、教科書英語ではなく生きた英語を沢山学ぶ、ということが達成できとても嬉しかったです。私もMary

も、学びたい言語が3つあり、それが全く同じだと言うことに会話の中で気付き、お互い知らない言葉を教えあえた時、国や人種が違って言葉が分かれば理解しあえる。そんな言葉って本当に素晴らしいなと、心から感じました。日本に帰る頃には他のメンバーのペアの子達と皆で冗談を言い合って笑いあったり、お菓子を分けあったりと、つい10日程前に初めて会ったとは思えないほど仲良くなっていました。高崎に着いてからは、だるまの絵付けや合気道を体験したり、市外視察で江戸村に行ったりと、私も体験したことが無い沢山の事を体験し、行き帰りのバスの中でメンバー全員で話したり、買ったものを見せあったりしていた時は、本当に楽しかったです。そんな充実した日々が過ごせたのも、幼い頃から英語に沢山触れさせてくれていた家族のお陰だと思い、感謝の気持ちでいっぱいになりました。今回の経験を活かして、これからもっと沢山英語を学び、2020年また会う約束をしたMaryと会い、まだまだ高崎の良いところは沢山あるので、また高崎の魅力は沢山紹介したいです。この度は本当に貴重な体験をありがとうございました。



だい かい 第35回バトルクリーク市交換学生事業に参加して

ふじおかちゅうおうこうこうねん いけだ けんと
藤岡中央高校1年 池田 堅斗

私は今年の夏、第35回バトルクリーク市交換学生事業に参加させていただき、アメリカのミシガン州バトルクリーク市に行きました。私は以前、同国のユタ州セントジョージ市に行っており、その時は会話も自分からすることがあまりできなかった為、リベンジとして今回の事業に参加させていただきました。その結果しっかりとリベンジを果たすことができました。ですがリベンジとは言ったものの、ホームステイ先ではほとんどリベンジをするぞと意気込んでいませんでした。なぜなら、その気持ちを忘れてしまうくらいホストファミリーとの会話が楽しかったからです。そして日本に帰って来て、「そういえば今回の目的はリベンジだったな〜。」と思い出し、リベンジ達成できて良かったなと思いました。今回、私がこの事業に参加して楽しかったことは、ホストファミリーとの会話はもちろんのこと、もう一つはマキノ島という島に行ったことです。マキノ島はとても島からの景色が良く、涼しい場所でした。私達交換学生はその島でサイクリングをしました。サイクリング中は、島からの最高の景色が広がって見えました。私は、今回の事業に参加したことによって、人の温かみ



や仲間とのかけがえのない交流などたくさんを体験し学ばせていただきました。最後まで支えてくれた家族や高崎市国際交流協会の方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

Wonderful days in America and Japan

まえぼしじょし こうこう ねん まつだ みゆう
前橋女子高校2年 松田 美優



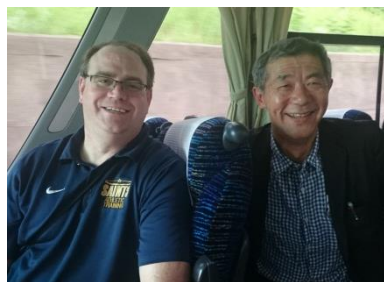
私にとってこの交換学生事業は、只々とても楽しかったです。22日では足りないほど毎日が楽しくて仕方ありませんでした。私がアメリカでの生活で楽しかった事は、ミシガンアドベンチャーに行ってホストファミリーと一緒に遊んだことです。ウォーターパークと遊園地にあるアトラクションは日本のものよりも大きくてびっくりしました。ジェットコースター好きの私にとってとても楽しかったです。たくさん笑ってたくさんおしゃべりして充実したアメリカでの生活になりました。また日本での交流では、ジェイクのおかげで普段では行かないような所にも行くことができました。ジェイクは車が好きで車の部品の中古屋さんやスバル工場見学へ行きました。自分の知らない世界を知ったり、ジェイクと趣味を共有できたりしてとても楽しかったです。私はこの事業を通してバトルクリークの良さ、海外での生活の楽しさを知りました。また英語が前よりも好きになりました。この経験を活かして少しでも前に進んでいけるように日々頑張りたいです。そして成長した姿でもう一度アメリカ、バトルクリーク市、ホストファミリーの皆さんのもとを訪れたいです。市役所の方々、交換留学生のみんな、ホストファミリーの皆さん、本当にありがとうございました。

Thank you very much! I enjoyed spending time in America!

バトルクリークに思う^{おも}

たかきけいざいだいがく ふ ぞくこうこうきょう ゆ ふくだ とおる
高崎経済大学附属高校教諭 福田 亨

Michigan 州という広大な田園の南部にある Battle Creek は、Kellogg Company 本社所在地であることから、Cereal City と呼ばれていることは周知かと思うが、今や、Denso City であると正された。自動車部品世界シェア第 1 位を維持しているデンソーの従業員 3000 人を抱える大工場の存在感の大きさからだと言う。一方、住宅地には天然の池が点在し、日暮れ時になると、ウシガエル合唱を BGM に、あちこちでホテルの光の舞いが始まる。何という風情であろうか。まさに、先進と豊かな自然が共存し、友好的で発展的な市民性にあふれた町がバトルクリークだった。今年も 4 名の高崎市の高校生が、10 日間、同市での家庭滞在を通して、様々な異文化体験の機会に恵まれた。異国での生活は毎日が新鮮で興奮に満ちていた。一方、ネイティブの英語の壁もあり、ホスト家庭での生活や習慣に戸惑い、悩みもあったようだ。しかし、彼らは自ら奮闘し問題を解決して前へ進み、毎日を楽しむことができた。彼らには、自らの考えを積極的に発信する能力が身についたのだろうと確信している。本事業の収穫の一つに、グローバル人材の育成があると感じた。昨今、若者の内向き志向が心配される中で、アメリカでの異文化体験を通して逞しく成長した今回の参加生徒諸君が、グローバル化の進む高崎市の活気溢れる明るい未来の創造に貢献してくれることを願って止まない。



◆PEOPLE PEOPLE

今年の PEOPLE PEOPLE は、子ども日本語学習支援ボランティアの支援を受けているお子さんの作文を紹介します。

僕は今もう12才になった。いろいろな事があった。僕が生まれた所はとても古い町で、隣は山で、木に囲まれている所だ。僕は一才から三才まで住んでいた。三才から祖母と祖父と一緒におじさんの家に住んでいた。僕は祖母の友達の子が作った幼稚園に行った。三年間通っていた。それから小一学校に三年生までいた。その中僕の友達が二人転校した。

四年生に入る前、僕を一才から九才まで育ててくれた祖母が天国に行った。あの時僕は一生忘れなれなかった。あの時、朝から泣いて涙が止まったら寝ちゃった。昼に起きて夢と思ったけど、事実は事実変わらなない。また泣いて、涙がかわいたら、祖母の友達や母や母の兄や姉も泣いちゃった。あの時、両親は僕と四年生が終わったら日本に行くと言った。



(原文のまま)

生まれてから今までの事

張友志

竹内三恵さん恵子さん姉妹のお店、テキサス風メキシコ料理 (TEXMEX) ペアーズフットアベニューを紹介します！



これからもお店で楽しく国際交流をしていきたいと話す竹内姉妹

店舗情報

【ペアーズフットアベニュー】
住所: 高崎市若松町 5-8
電話: 080-6634-2834
ランチ 11:30~14:00
ディナー 18:00~21:00
定休日: 木曜、日曜

Q: PRしたいことは？



A: テイクアウト、ケイタリングも可能です。

第1、3火曜日の夜7時から英語でトークする会を開いています。お茶とお菓子付きで1000円です。ギター教室など、いろんなことをやっているのでも facebook でチェックして下さい！

Q: 将来の夢は？

A: これからもお店で楽しく文化的な国際交流をしていきたいです。ゆくゆくはタコストラックで移動販売も手がけイベント参加してみたいです。

【広報宣伝部会のスタッフも食べてみました(感想)】

ランチでケサディア(チキン)850円を食べました。トルティーヤにブラックビーンのパスタを塗り、パプリカ、炒めたチキン、チーズを挟み、二つに折り、オリーブオイルで焼いた料理です。皮がパリッとしていて、頬張るとチーズがとろけて美味でした！付け合せはサラダとメキシカンライス、ハラペーニョ。更にコーンチップにサルサソースも付きました。付け合せは季節によって変わるそうです。



Q: 高崎にお店を出そうと思ったきっかけは？

A: 知り合いのアメリカ人に尋ねたらみんなメキシコ料理が恋しいと言ったから、やってみようと思いました。2016年10月にお店を始めたのですが、実際食べに来てくれるアメリカ人のお客さんが「これこれ、この味」って喜びます。中にはなつかしすぎて涙する人もいますよ。

Q: テキサス風メキシコ料理の特徴は？また工夫していることは？

A: 麻布十番のソウルフードハウスのラターニャさんのレシピを受けついでいます。普通のメキシコ料理よりチーズが多めです。また日本人向けには、野菜を加えることや、辛すぎないことを心がけています。辛さはハラペーニョで調節していただきます。

ラジオ
たかさき
高崎

たかさき
「マイタウン高崎」

放送日時

第1・3金曜日 午前9時15分~9時25分
再放送 午後12時30分~12時40分

放送予定

10月5日 国際交流の集い
10月19日 国際交流の集い
11月2日 世界のスープと粉物
11月16日 青少年グローバル人材育成講演会
12月7日 国際親子交流会



※放送日時や内容が変わることがあります。

募集

ようひん ぼしゅう
インターナショナルバザー用品募集

【第28回国際交流の集い】~2018年10月21日~

売り上げはプランインターナショナル(途上国の女子支援)と、SMILE BY WATER(アジア諸国に安全な水を届ける支援)に寄付されます。

募集内容

- ★海外の雑貨や衣料品 (アクセサリ、ピンバッジ、ポストカード、置物、カトラリー、Tシャツ、帽子、スカーフなど)
- ★和小物 (扇子、箸置き、巾着、手ぬぐい、風呂敷など)
- ★外国語の本 ※本以外は未使用のものをお願いします。 ※食品(酒類を含む)、化粧品、サイズの大きいもの、古着、硬貨は受け付けません。

受付方法

10月1日(月曜日)~10月17日(水曜日)の間に高崎市役所2階国際交流コーナーへ持参もしくは郵送してください。
※郵送の場合は事前連絡の上、送料の負担をお願いします。
※品物は全て無償の提供とし、品名と国名をお知らせください。

かいじんむ じょうほう
会員向けおトク情報

◆会員なら参加費半額！

国際交流イベント「世界のスープと粉物」

※詳しくは1ページの

「お知らせ」を見てください

◆◆◆平成30年度会費を受け付けています◆◆◆

●会費 = 個人2,000円 団体・法人10,000円 (4月~来年3月の1年間有効)

※10月以降の新規入会は半額

●納入方法 = 事務局窓口もしくは郵便振込 ※継続会員には振込手数料のかからない払込用紙を送りますので、事務局へお問い合わせください。

ともだち

発行 高崎市国際交流協会

〒370-8501 高崎市高松町35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP http://www.glocalfive.net/tirs

発行日 平成30年(2018年)10月